

令和5年度 事業計画

一般財団法人長岡花火財団

令和5年度 事業計画

一般財団法人 長岡花火財団

2020年1月から猛威をふるった新型コロナウイルス感染症の影響を受け、当財団においても様々な活動が制限される中、昨年ようやく3年ぶりの長岡まつり大花火大会を開催できた。昨今の状況としては今年5月8日からの感染症法上の取扱変更にあるように、コロナ前のように生活環境を戻す動きが活発化している。

一方、コロナ禍の3年間を経て、市民の生活様式や価値観などが変化しているなか、変えなければならないものと変えてはならないものを見誤らないことが重要と考えている。

このような背景を受け令和5年度は、Withコロナを意識した財団運営の基礎を構築・確立させる年度と位置付け、各事業を推進させる。

【事業の4本柱】

1. お客様が安全で、すべての方から喜ばれる大花火大会の企画・運営
2. 長岡の誇りを伝える活動の展開
3. 長岡花火ブランドの全国・世界発信
4. 組織力の強化

1. お客様が安全で、すべての方から喜ばれる大花火大会の企画・運営

「お客様の安全・安心を第一に、絶対無事故の花火大会運営」「市民・来訪者から喜ばれ、称えられる「気配り」溢れる花火大会運営」の2点をモットーに、市民はじめすべての花火観覧者に対して、開催当日の良識ある行動について昨年同様求めることとする。

(1) 安全対策の徹底

- 雑踏事故防止を徹底するために、引き続き会場内全席を有料観覧席とし、不特定多数の来場者を抑制する。また、席種や席配置などに応じて入退場時間を変えるなどの分散化も引き続き実施する。
- 前記などの雑踏対策、感染症対策、熱中症対策などを市民や観覧希望者などに向けて早期に周知し、必要な協力を求めることとする。

(2) 感染症対策及び熱中症対策の方針

- 感染症対策においては、昨年実施した実績やノウハウを活かし、状況に応じ臨機応変に対策を講じる。
- 暑さ対策の事前広報や日中の待機列軽減などの策を講じる。

(3) 交通対策の推進

- 観覧希望者のニーズ変容に伴うマイカー来場者の増加を考慮し、「長岡花火駐車場シェアプロジェクト」の拡充を図る。
- 各交通関係機関と綿密な連携を図り、花火大会前後の交通渋滞や混雑を軽減策を講じる。

(4) 観覧席、チケット販売

- 観覧希望者のニーズを考慮して、席種や席配置などの見直しを行い、観覧環境の最適化を図る。
- 市民先行販売の受付時期を、昨年より1か月早めて4月から開始する。
- 公式再販売の対応期間や方法の見直しを行い、チケット購入後に来場不可となった人の救済や不正転売の抑制を図る。

(5) 広報活動の強化

- 長岡花火公式アプリの機能拡充やタイムリーなスポットCMの活用を図り、観覧希望者への情報提供や注意喚起など届けたい情報をすばやく広報できる体制を構築する。

2. 長岡の誇りを伝える活動の展開

(1) 情報発信拠点の利活用促進

- 「道の駅ながおか花火館」の長岡花火ミュージアムを拠点として、特に未来を担う子ども達を対象とした普及啓発プログラムを作成・実施し、伝承活動を強化する。
- 「道の駅ながおか花火館」のドームシアターで放映する映像については、更新（入替）をはじめ魅力あるコンテンツであり続けられるよう、長岡市及び施設指定管理者とともに取り組む。また、アオーレ長岡のシアターとも連携し、年間を通じた長岡花火の魅力・誇りを伝える拠点として活用する。

(2) 伝承活動の充実

- 長岡花火の歴史や想いを子どもたちに伝えるために、学校等を訪問し授業を積極的に実施する。
- 長岡花火伝承会と連携して、企業や団体など向けの講演、講義などを積極的に実施する。

(3) ボランティア活動を通じた人材育成

- 長岡花火の普及啓発活動や長岡まつり大花火大会での早朝清掃や通訳、フェニックス花火の募金活動などを通じて、長岡花火に率先して協力してもらえらるボランティアの育成を図る（NPO ネットワークフェニックス等）。

3. 長岡花火ブランドの全国・世界発信

(1) 「長岡花火」打ち上げによる発信

《当財団主催事業》

① 長岡花火ウインターファンタジー

冬季の長岡花火の打ち上げ（7回目）。越後公園管理センターと連携し、冬場の観光資源としての定着を図る。

時期：令和5年12月上旬 会場：国営越後丘陵公園

《花火打ち上げ事業に参画》

① 長岡米百俵フェス

秋季の長岡花火の打ち上げ。全国から観客を集めて開催される音楽フェスとコラボして、長岡花火を打ち上げる。

時期：令和5年10月上旬 会場：東山ファミリーランド

② 長岡雪しか祭り

冬季の長岡花火の打ち上げ。長岡雪しか祭り実行委員会に参画し、長岡花火「雪花火」を打ち上げる。

時期：令和6年2月中旬 会場：ハイブ長岡ほか（花火は河川敷）

③ ホノルルフェスティバル

海外での長岡花火の打ち上げ。長岡市の姉妹都市ホノルル市で開催されるホノルルフェスティバルの最終日に長岡花火を打ち上げる。

時期：令和6年3月中旬 会場：ホノルル市ワイキキビーチ

《長岡花火打ち上げを支援》

① 長岡花火ローズファンタジー

春季の長岡花火の打ち上げ。越後公園管理センターの主催で、年間を通じた長岡花火のプロモーションとして協力する。

時期：令和5年6月下旬 会場：国営越後丘陵公園

② 長岡花火の打ち上げサポート

長岡花火の発信力向上や普及啓発に寄与すると考えられるイベント等で打ち上げられる「長岡花火」をサポートする。

(例)：「アフィニス夏の音楽祭」における長岡花火の打ち上げ

国内外の演奏家が一堂に会する音楽祭。初日に開催されるオープニングセレモニー&コンサートで長岡花火を打ち上げる。

時期：令和5年8月下旬 会場：長岡リリックホール

(2) 知的財産権の有効活用

- 当財団所有の商標を有効活用し、長岡花火ブランドの知名度向上を図る。
(民間事業者の商品開発への協力、長岡花火公式グッズの製作など)
- 商標の意義を広める活動を推進し、地域全体で長岡花火ブランドを守り、高める気運を醸成する。

(3) 若年層に向けた訴求力強化

長岡まつり大花火大会など各種事業の永続的な実施に向けて、未来を担う若い世代に向けたプロモーション活動に力を入れる。

4. 組織力の強化

(1) 長岡花火応援企業・団体との連携強化

長岡花火オフィシャルパートナー企業などとの連携強化により、財団の運営体制の強化を図るとともに、日々の企業活動でも長岡花火を応援していただくことで、地域全体で長岡花火を盛り立ててもらおう機運を醸成する。

(2) 災害等のリスクへの対応

風水害等の不測の事態に備え「災害等対策基金」への積み立てを行う。

(3) 保険への加入（事故リスク対応）

- 大規模花火大会に対応した損害賠償保険
- 大花火大会の中止・延期に備えた興業中止保険
- 役員賠償責任保険団体制度
- 煙火消費が原因による人的・物的損害に対応する煙火消費保険

(4) 事業継続と人材育成

各種事業内容の精査や収支の検証、事務の効率化を図り、健全で持続的な財団運営のための人材育成を図る。

収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	令和5年度予算額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	10,000
基本財産利息収入	10,000
特定資産運用収入	0
特定資産利息収入	0
事業収入	861,869,000
観覧席販売収入	811,552,000
駐車場協力金収入	13,090,000
各種販売収入	10,475,000
各種賦課金収入	620,000
業務委託料収入	26,132,000
補助金等収入	69,982,000
長岡市派遣職員人件費補助金収入	69,982,000
その他補助金収入	0
寄付金収入	4,020,000
寄付金収入	4,020,000
協賛金収入	267,075,000
現金協賛金収入	56,000,000
広告協賛金収入	1,360,000
花火協賛金収入	192,715,000
フェニックス花火協賛金収入	10,000,000
その他協賛金収入	7,000,000
雑収入	382,000
受取利息収入	2,000
雑収入	380,000
事業活動収入 計	1,203,338,000
2. 事業活動支出	
大会運営事業費支出	993,776,000
花火打上事業費支出	251,231,000
会場設営事業費支出	387,555,000
安全対策事業費支出	169,990,000
交通対策事業費支出	52,180,000
観覧席販売事業費支出	96,420,000
寄付懇請事業費支出	10,890,000
受入体制強化事業費支出	25,510,000
普及啓発事業費支出	5,010,000
普及啓発イベント事業費支出	0

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	令和5年度予算額
伝承活動事業費支出	5,010,000
ブランド発信事業費支出	114,808,000
情報発信事業費支出	28,870,000
海外発信事業費支出	13,190,000
情報発信拠点事業費支出	11,699,000
長岡花火打上プロモーション事業費支出	61,049,000
その他プロモーション事業費支出	7,462,000
その他プロモーション事業費支出	7,462,000
管理費支出	159,608,000
人件費支出	81,742,000
施設費支出	18,451,000
その他管理費	59,415,000
事業活動支出 計	1,280,664,000
事業活動収支差額	△ 77,326,000
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
寄付金収入	0
長岡市出捐金収入	0
長岡まつり協議会寄付金収入	0
特定資産取崩収入	0
投資活動収入 計	0
2. 投資活動支出	
基本財産取得支出	0
特定資産取得支出	0
災害等対策基金特定資産取得支出	0
投資活動支出 計	0
投資活動収支差額	0
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入 計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出 計	0
財務活動収支差額	0
当期収支差額	△ 77,326,000
前期繰越収支差額	80,047,792
次期繰越収支差額	2,721,792